

東 部

地域局

通 信

第26号

2025. 2. 28

発行 静岡県東部地域局地域課



こんにちは！ 静岡県東部地域局です。

東部地域局通信は、静岡県東部の14市町の様々な情報を局員それぞれが独自の視点で取材編集しています。世界文化遺産である富士山や、ユネスコ世界ジオパークの伊豆半島、世界農業遺産の「わさび」など、世界に誇る地域資源に恵まれている東部地域の魅力をお届けします。局員一人一人の個性あふれる記事にも御注目ください。お楽しみに！

第2回静岡県東部地域災害ボランティア連絡会を開催しました



▲ワークショップの様子



▲話し合ったことをグループごとに発表

災害発生時に災害ボランティアの受入れや活動援助を円滑に行うためには、ボランティア関係団体、社会福祉協議会及び行政の日頃からの顔の見える関係の構築が必要です。

そこで、当局では、令和7年1月31日に、東部地域の関係機関から約60名が参加した「静岡県東部地域災害ボランティア連絡会」を開催しました。

ワークショップでは、「被災者支援の課題と南海トラフ巨大地震に向けて取り組みたいこと」と「平時からできる防災力向上のための取組～地域の防災訓練や防災教育など～」について、活発な意見交換がありました。

参加者からは、「ほかの市町の方の考えを聴くことができ良かった。」「もっと地域との連携が必要だと感じた。」などの感想がありました。

今後も、災害発生時に備え、関係機関の連携強化につながる場を提供していきます。

(担当:野沢)

地震対策オペレーション2025を実施しました

令和7年1月17日に、地震対策オペレーション2025を実施しました。県では、平成7(1995)年1月17日に発生した阪神・淡路大震災を契機に、毎年、1月17日に大規模訓練を実施しています。

訓練では、県・市町職員だけでなく、国土交通省、自衛隊、東京電力などの関係機関に御協力いただき、実災害時を想定して業務の手順を確認しました。

今後も継続的に訓練を実施し、課題を整理することで、南海トラフ地震などの災害への対応力を強化していきます。

(担当:沼倉)



詳細はこちら



／東部地域の魅力を伺いました／ チームブリヂストンサイクリング

かわのしょうき
河野翔輝選手



東部地域を拠点に活躍するプロスポーツチーム・選手に御協力いただき、地域の魅力を発信する企画「東部地域×スポーツ」。今回は、チームブリヂストンサイクリングで令和7年1月からキャプテンを務める河野翔輝選手にインタビューを行いました。

インタビューでは東部地域に拠点を移してからの生活の変化や、東部地域がサイクリングに適している点など、プロスポーツ選手から見た東部地域の魅力を語っていただきました。

インタビュー内容は東部地域局HPにて公開します！

サイクリングコース紹介動画を公開しました



動画はこちら

東部地域を拠点に活躍しているプロサイクリング選手が、東部地域のサイクリングコースを紹介する動画を公開しています。今回動画に出演していただいたのは、「レバンテフジ静岡」の高梨万里王選手と山口瑛志選手、インタビューでも御協力いただいた「チームブリヂストンサイクリング」の河野選手です。動画は、東部地域局公式YouTubeチャンネル「富士山・伊豆サイクリングチャンネル」にて公開していますので、是非御覧ください！

(担当:望月)

静岡経済同友会東部協議会公開セミナーが 開催されました

人口減少社会を迎えるこれからの時代を見据えて、静岡経済同友会東部協議会主催により、「人口減少時代に。新たな東部の広域連携を目指して」をテーマとした公開セミナーが、令和7年1月22日にプラサヴェルデ(沼津市大手町)で開催されました。

第1部では、事業構想大学院大学事業構想研究所教授の河村昌美氏かわむらまさみを講師に、「地域活性化のための『共創』の意識と実践」と題して、基調講演が開かれました。これからの地域活性化には、既知と既知を合わせたイノベーションが欠かせない。そのためには、幅広い知識を共有することが大事になり、ステークホルダーにも価値を提供したり、ステークホルダー同士の直接交流・共有するためのプラットフォームが重要となってくることなどが講演されました。



パネルディスカッションの様子

第2部では、合同会社うさぎ企画代表社員の森田創氏もりた そうをコーディネーターに、「2地域居住時代・到来-行政境を超えて活躍するヨソモノを共有せよ!」と題して、パネルディスカッションが開かれました。2地域居住と移住の違いやヨソモノから見た東部地域の魅力、行政がその境界・区域にとらわれることなく広域で連携することの重要性等が議論されました。ヨソモノだからこそその視点や東部地域の発展性や期待感を感じました。

本セミナーを参考にして、当局のこれからの活動に生かしていきます。

詳細は「静岡経済同友会
東部協議会」ホームペ
ージを御覧ください→



(担当:中村友)

令和6年度 「地域のお店」デザイン表彰 受賞店舗紹介

詳細は
こちら→



令和6年度「地域のお店」デザイン表彰で大賞を受賞した「木のおもちゃカフェ SOWERS」(沼津市)と特別賞(ローカルフード賞)を受賞した「KURUHA」(伊豆の国市)、特別賞(サステナブルデザイン賞)を受賞した「根継商店」(三島市)にこれまでの活動や思いについて伺いました。

「地域のお店」デザイン表彰とは、単に外観のデザインにとどまらず、お客様との関係づくりや地域貢献など、広い意味での「デザイン」という観点から、魅力と個性に優れた個店を表彰する取組です。「ふじのくに魅力ある個店」登録店を対象に実施しています。

大賞

木のおもちゃカフェ SOWERS

店舗の情報は
Instagramから！
@sowers_omocha.cafe



沼津市



「木のおもちゃカフェSOWERS(ソワーズ)」(沼津市五月町)は、木のぬくもりを感じることができるコミュニティカフェです。

木を基調とした店内は、木組みのロフトが印象的なキッズスペースとカフェスペースに区切られており、子どもがのびのびと遊びに夢中になる傍らで、大人も自分らしく居心地の良い時間を過ごすことができます。

店名の「SOWERS=種を蒔く人」には、子どもたちが将来、自然を大切に感じる性を育ててほしいという思いが込められており、体に優しい食材や発酵調味料を使ったカフェメニュー、環境に配慮した自然由来の商品をそろえています。

(担当:小玉)

特別賞

KURUHA

店舗の情報は
Instagramから！
@kuruha.izu



伊豆の国市

まちの騒がしさとは無縁の田園風景の中にたたずむ「KURUHA」(伊豆の国市壱之上)は、古民家をモダンにリノベーションした店内で、地元食材の味を生かした料理を堪能できるお店です。

店主の難波隆正(なんばたかまさ)さんは、東京で修行した後、お客様に、「伊豆」の食材を「伊豆」の空気の中で楽しんでもらいたいという思いから、あえて市街地から離れた場所にお店を構えています。旬の味を大切に作る料理は、伊豆のろっぼう野菜や三島馬鈴薯、箱根西麓牛、沼津港に水揚げされる魚が主役で、月替わりで違った料理を楽しむことができます。リピーターも多く、ゆったりとした心地の良い時間を過ごせる素敵なお店です。

(担当:駒谷)

特別賞

根継商店

店舗の情報は
ホームページから！



三島市

三島大通り商店街沿いにある複合ビル「Via701」の1階にある根継商店(三島市本町)は、誰もが気軽に木工やDIYができる「まちの作業場」です。コンセプトは“ものづくりを通じてヒト・モノ・コトが繋がる場所”であり、地域住民や観光客が、専門工具をそろえた作業スペースで、常駐している大工と交流しながらものづくりを楽しむことができます。

また、店内では、建築やアートなどに関する書籍の販売や、建築過程で出た端材を使用した木工製品の展示・販売も行っています。木材の廃棄量削減に取り組むとともに、大工という職の魅力やものづくりの文化、地域コミュニティを次世代に継承するサステナブルな地域づくりに貢献しています。

(担当:中野)

歴史街道を巡ろう！

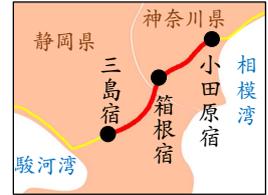
古くから人や物、情報が行き交い、日本の発展を支えてきた「歴史の道＝街道」往時の面影を現代に伝える「街道」を旅してみませんか？

東海道「箱根八里」 歴史の表舞台「天下の険」

江戸時代の街道旅を追体験するストーリーにより文化庁から『日本遺産』に認定されています。

「箱根八里」は、江戸時代に徳川幕府が整備した東海道の一部で、小田原宿から箱根峠を登り三島宿に下るまでの八里(約32km)の道です。その険しさから「天下の険」と呼ばれていました。緑深い森を切り開いた道には、当時の日本で随一の石畳が敷かれており、人々の往来を支えていました。

この道は江戸時代の大幹線であり、西国大名やオランダ商館長、朝鮮通信使、長崎奉行など、歴史上の人物が数多く往来しました。また、風光明媚な場所や史跡も多く、浮世絵や和歌、俳句などの題材にも取り上げられました。



三嶋大社(三島市)

伊豆国一宮(※)。源頼朝をはじめとした武家の崇敬を集めた。本殿・幣殿・拜殿は国の重要文化財。

(※)一宮…その地域の中で最も社格が高いとされた神社のこと



箱根関跡(箱根町)

旅人の往来を監視するために設置。徳川幕府は箱根山を江戸防衛のために重視していた。

下田街道 文学の聖地から黒船来航の下田へ

街道沿いの温泉や史跡は、熱海市や伊東市の文化財とともに『しずおか遺産(県認定)』に認定されています。



修善寺温泉(伊豆市)

修善寺を中心とする歴史ある温泉街。夏目漱石や芥川龍之介など多くの文豪に愛された。

韮山反射炉(伊豆の国市)

幕末に稼働し大砲などを鋳造。「明治日本の産業革命遺産」として世界文化遺産に登録。



了仙寺(下田市)

1854年に来航したペリーと日米和親条約が結ばれた場所。「ジャスミンの寺」としても知られる。



「下田街道」は、三島から修善寺・天城峠を経て下田に至る、伊豆半島を縦断する道です。このルートは主に海運が用いられていましたが、江戸時代後期から整備が進み、明治時代に旧天城トンネルが開通して以来、一大観光地へと発展しました。

街道沿いには、温泉旅館や名勝、史跡が点在しており、癒やしを求めて多くの文豪が訪れました。芥川龍之介や夏目漱石も当地に滞在し、また、川端康成の『伊豆の踊子』や井上靖の『しるばんば』など数多くの作品の舞台にもなっています。



↑旧天城トンネル
←伊豆の踊子像

開催予定！ 全国街道交流会議 第14回「三島大会」

NPO法人全国街道交流会議主催の全国大会が、令和7年11月に三島市で開催されます。この大会は、**街道の歴史文化を連携の軸とした広域で持続可能な地域づくり**を目的に、全国各地で開催されています。「三島大会」では、東海道「箱根八里」と下田街道の歴史的意義を再認識し、街道観光ブランドの創出や、連携によるみちづくり・まちづくりについての意見が交わされます。

NPO法人全国街道
交流会議 公式HP ↓



(担当:駒谷)



静岡県東部地域局

〒410-0055 静岡県沼津市高島本町1-3
055-920-2139
toubu-chiiki@pref.shizuoka.lg.jp
https://www.pref.shizuoka.jp/

X

Instagram

note



◀ 東部地域局公式SNSでも
様々な情報を発信しています！

東部地域局は、富士山麓地域から伊豆半島地域にわたる県東部地域の14の市町を担当エリアとしており、自然災害などの危機事案への対応、地域振興や伊豆半島地域の観光振興などを担っております。

沼津市・熱海市・三島市・富士宮市・伊東市・
富士市・御殿場市・裾野市・伊豆市・伊豆の国市・
函南町・清水町・長泉町・小山町

